

事例15

< 事例概要 >

人工股関節全置換術（再手術）

- ① 80歳代、体重40 kg 台、大腿骨転子部骨折に対する骨接合術（髓内釘）後の患者。
- ② 外傷後変形性股関節症に対し、人工股関節全置換術を施行。
- ③ 寛骨臼の操作で出血が増加し血圧80 mmHg台、心拍数100 回/分台となり、昇圧薬を数回投与。その後も血圧低下あり昇圧薬の持続投与を開始。術中出血量660 mℓとなり、赤血球液をオーダーした。退室時Hb 8 g/dℓ 台、血圧60 mmHg台、心拍数110 回/分台。
- ④ 病棟帰室直後、血圧50 mmHg台、心拍数110 回/分台、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）測定不能、末梢冷感あり。昇圧薬を増量し、赤血球液を投与。約2 時間後、血圧50 ～ 70 mmHg台、心拍数120 回 /分台。約3 時間後、ドレーン出血量計350 mℓ、下顎呼吸となり、気管挿管。帰室約4 時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、血管損傷（疑い）による出血性ショック。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。